

視点

リアルな 介護人材確保策を

これからの介護政策の一番の課題は人材確保につきます。介護人材は2019年度には211万人だが、2040年度には280万人が必要になり、69万人を確保する必要があります。2024年度の介護報酬改定率+1・59%は、過去2番目に大きな上げ幅で、賃上げに充てられる。しかし、それだけでは限界がある。69万人をどう確保するのか、リアルな積み上げ策が必要だ。

方策は、4つに集約される。

第一に、自立して生活できる「健康寿命」をできる限り延ばすこと

だ。介護が必要な「不健康期間」は女性が約12年、男性が約9年だが、この期間を短くすれば、介護人材もその分必要でなくなる。

第二に、高齢者や女性の活用だが、女性の就労のM字カーブは解消されつつある。むしろ、これからは高齢者の就労について、介護現場でも工夫が必要だ。

第三に、ロボット、ICT、AIの活用等介護DXによる生産性の向上だ。介護は人手が多ければ多いほどいいという通念はもはや通用しない。デジタル特養はアナログ特養よりも有利な報酬体系に

すべきだ。

第四に、外国人介護人材の確保だ。コロナ明けとなり、外国人介護人材は、4万人を超えてきた。もはや外国人人材なしには、日本の介護は成り立たない。しっかりと外国人人材確保策を打ち出していく必要がある。

賃金水準や財源などの「金」はヴァーチャルなので、いざとなれば国債で借金できる。しかし、人材はリアルなので国債で借金して賄うことはできない。リアルな積み上げ政策を早急に打ち出さないと手遅れになりかねない。

社会保険旬報

目次

No.2925 2024年4月21日

視点

リアルな介護人材確保策を 3

座標

子育て「支援金」法案で参考人質疑
分娩施設の96%がウェブ掲載見込み 4
後期高齢者医療の保険料は7082円
コロナ5類移行で医療事故報告件数増 5

レコーダ

虎ノ門フォーラム
月例社会保障研究会から
令和6年度介護報酬改定について
古元重和 6

日本医師会が代議員会開く
物価高騰対応に骨太へ働きかけ
医師働き方改革の課題へ取組む 16

論評

保健福祉専門職種等の在り方に関する研究④
保健医療福祉専門職間の需給推計方法について
小金澤圭吾 堀真奈美 22

理想—視診・聴診

生き方いろいろ
高山哲夫 21

潮流

日看協が病院看護実態調査 29
かかりつけ医機能の基本的な考え方を承 .. 30
支払基金が6年度事業計画を公表 32
中間年薬価改定の廃止へ緊急集会 34
PhMRAがドラッグラグ解消で提言 35

NEWS

医療保険部会がマイナ保険証の利用促進策を議論 ほか 36

経済スコープ 41

編集室・ワードカプセル 42